

(案)

令和5年3月3日

東京都 省エネ・再エネ住宅推進プラットフォーム
会員団体の皆様

東京都 環境局 気候変動対策部
制度調整担当課長

「建築物環境報告書制度」周知パンフレットの活用について（依頼）

平素より東京都の環境行政に御理解・御協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

東京都は、2030年までに温室効果ガス排出量を50%削減するカーボンハーフを目指した取組を進めています。こうした背景のもと、令和7年4月から、新築住宅等への太陽光発電、断熱・省エネ性能の確保等を、大手ハウスメーカー等に義務付ける新しい制度（建築物環境報告書制度）を導入します。

現在、新制度の周知に向けた取組の一つとして、制度の概要を記載したパンフレットの作成を進めており、今後、様々な場面を活用して周知活動に取り組んでいくこととしています。

新制度は住宅の新築や購入を検討されている都民の方々に関連が大きいことから、貴団体の会員の皆様がお持ちの都民の方々との接点における周知も有効な手法の一つと考えております。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、貴団体で周知活動へ御協力いただくことについて御検討いただいた上で、別添の様式により配布いただけるパンフレットの数量・お届け先等について、3月17日（金）までに下記担当まで御連絡ください。

貴団体の会員の皆様に多くの場面で活用いただき、新制度の周知に御協力いただけますと幸いです。

何卒よろしくお願い申し上げます。

<担当>

東京都 環境局 気候変動対策部 環境都市づくり課 齋藤

Mail : Tatsuki_Saitou@member.metro.tokyo.jp

TEL : 03-5388-3708

活用しよう支援制度

① 太陽光パネル

新築住宅：1kW あたり10万円

※3.6kW以下の太陽光パネルの場合
1kWあたり12万円(上限36万円)

4kWの太陽光パネルを新築住宅に設置した場合の例



7年目からは電気代削減額の累計が初期費用を上回ります
※東京都区市、2人以上の世帯の場合を想定して試算(令和4年5月時点)
したものであり、今後の状況等で変動する可能性があります。

③ 集合住宅向けの支援

◎太陽光発電設置に要する架台や屋上防水工事費用を支援

◎再エネ100%電力等の導入を促進するため、高圧一括受電への切替に伴う受変電設備設置の費用を支援



④ リース等を活用して初期費用をゼロに

リースなど初期費用ゼロで太陽光パネル等を設置する事業者が費用を助成し、サービス利用料の低減などを通じて住宅所有者に還元します。



② 蓄電池設置 補助率 3/4

※6.34kWh未満の場合上限19万円/kWh
6.34kWh以上の場合上限15万円/kWh

8kWhの蓄電池を設置した場合の例



支援制度には一定の要件等があります。
支援制度の詳細や、最新の情報は下記のワンストップ相談窓口にお問い合わせ
いただくか、クール・ネット東京HPをご覧ください。



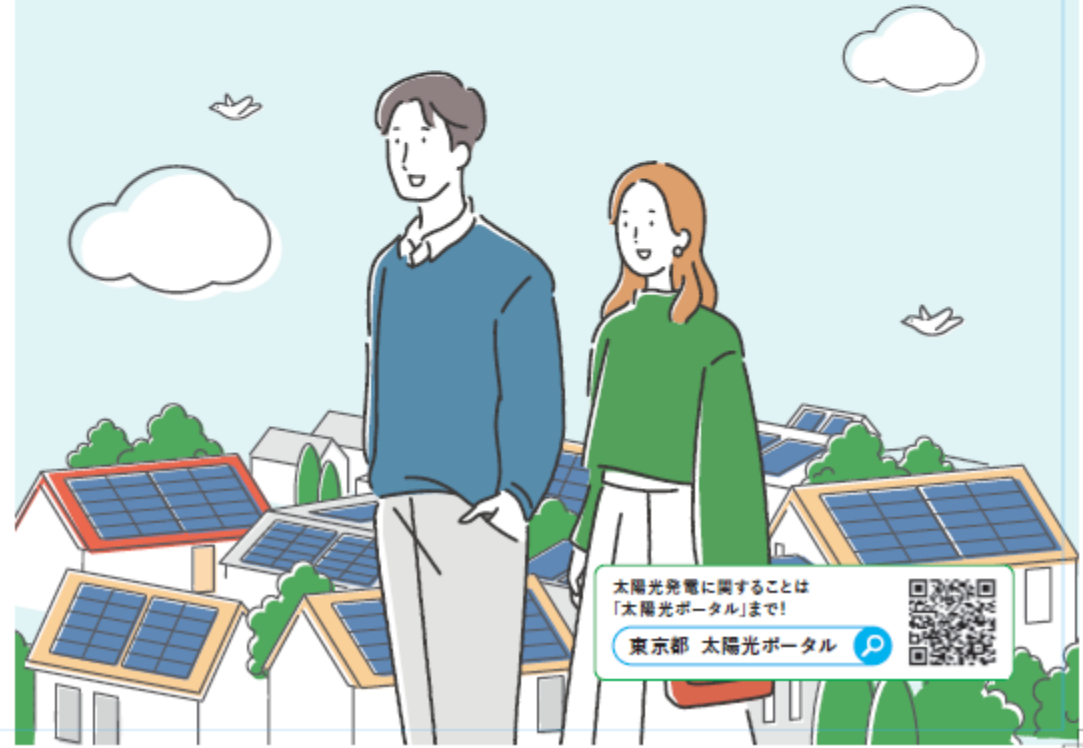
本件に関する質問ご相談は、下記ワンストップ相談窓口まで。
ワンストップ相談窓口 / 03-5990-5236
受付時間：平日午前9時～午後5時



2025(令和7)年4月から

わが家は発電所

新築住宅等を対象とした
太陽光発電、断熱・省エネ性能等に関する
新しい制度が始まります



太陽光発電に関することは
「太陽光ポータル」まで!

東京都 太陽光ポータル





太陽光発電で、地球と家庭にやさしい暮らしを。



どんな制度なの？

東京都は、2030年までに温室効果ガス排出量を50%削減するカーボンハーフを目指した取組を進めています。こうした背景のもと、令和7年4月から新築住宅等への太陽光発電設備の設置や断熱・省エネ性能の確保等を義務付ける新たな制度(建築物環境報告書制度)を導入します。

太陽光パネルの設置義務者は誰？

- 都内年間供給延床面積が20,000 m²以上の大手住宅供給事業者等(※1)が対象です。
- 新築建築物が対象(※2)で、既存の物件は対象外です。

※1 この他に、申請を行い知事から承認を受けた事業者も制度に参加できます。
 ※2 本制度における太陽光パネル設置義務量は、事業者ごとに一定の算定式に基づき設定される仕組みとなっているため、必ずしも全ての新築建築物に太陽光パネルの設置を求めるものではありません。



施主・購入者等に求められることは？



事業者には、施主・購入者に対して環境性能について説明する義務があります。事業者から説明を聞いた上で、住宅の注文・購入等をご判断ください。

注文住宅の施主

事業者からの説明を聞いた上で、建物の環境配慮について必要な措置を講じ、環境への負担を減らすよう努めてください。

建売分譲住宅の購入者等

事業者からの説明を聞き、建物の環境配慮について理解を深め、環境への負担を減らすよう努めてください。

環境性能の高い家のメリットって？

① 経済性

太陽光発電や省エネルギー化により、電気代・ガス代を削減できます。

戸建住宅に4kWの太陽光パネルを設置した場合
※東京都区部、2人以上の世帯の場合を想定して試算(令和4年5月時点)
したものであり、今後の状況等で変動する可能性があります。



月々約7,800円、年間では約93,600円の電気代が削減できます

② 健康的な暮らし

断熱化によって快適な室温が維持されることで、部屋間の温度差も小さくなり、ヒートショックの抑制につながります。



③ 環境

CO₂排出量の削減に貢献

4kWの太陽光パネルで1年間発電した場合のCO₂削減量は、スギ約200本分の吸収量に相当します。



④ 防災

停電への備え

太陽光発電を設置することで、停電時にも電気が使えます(自立運転モード利用時)。また蓄電池と組み合わせることで夜間も電気を使用できることとなり、防災力をさらに高められます。



太陽光パネル設置にまつわる疑問にお答えします!

太陽光発電のクエスチョン

より詳しい内容は「太陽光ポータル」をご覧ください。

Q 太陽光パネルを設置した後は、どんなメンテナンスが必要なの？

一般的な住宅地では、定期的に屋根に登って掃除をする必要はほとんどありません。

劣化等を日常的に確認することをおすすめします。詳しくは販売店・工務店・メーカー等にお問い合わせください。



Q 自然災害で太陽光パネルが破損した場合、火災保険の対象になるの？

新築住宅の屋根に設置した太陽光パネルは、一般的に火災保険(建物)の補償対象として含まれます。



Q 新築時に設置した太陽光パネルに施工不良があり住宅の修理等が必要となった場合、修理費用の負担は？

修理費用は事業者が加入する保険等から賄われます。

新築から10年間、住宅の構造と防水の欠陥に関する修理等が必要になった場合、住宅供給事業者が修理を行います。



Q 太陽光パネルはリサイクルもできるの？

リサイクルが可能です。

従来の大量廃棄を見込み、資源国において、様々なリサイクル施設が稼働し、廃棄物太陽光発電設備の処理が進んでいます。

